



The Heart of Industry

IWAKI

2017年3月期 決算説明資料

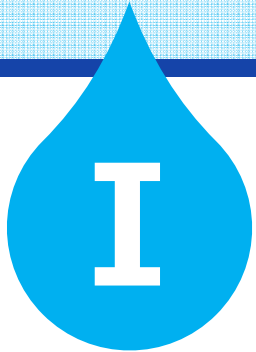
2017年5月26日

株式会社イワキ

証券コード：6237
銘柄名：イワキポンプ



I. 2017年3月期 決算概要	・・・P 3
II. 今後の戦略	・・・P12
III. 2018年3月期 業績見通し	・・・P19
IV. 参考情報	・・・P24



2017年3月期 決算概要

(百万円)

	2016/3期	2017/3期		2017/3期 予想値*
		金額	前期比	
売上高	24,830	25,146	+1.3%	24,871
売上総利益	8,413	8,175	△2.8%	8,224
(粗利率)	(33.9%)	(32.5%)	(△1.4pt)	(33.1%)
営業利益	1,533	1,465	△4.4%	1,594
(営業利益率)	(6.1%)	(5.8%)	(△0.3pt)	(6.4%)
経常利益	1,991	2,136	+7.3%	2,067
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,527	1,690	+10.7%	1,527
1株当たり 当期純利益(円)	223.99	225.93	+0.9%	204.04
為替レート (期中平均)	ドル 121.11	ドル 108.81		98.00
	ユーロ 134.31	ユーロ 120.30		108.00

* 2016年11月9日公表

1

売上高は前期比プラス

- ✓人工透析装置等の需要増で医療機器市場が前期比で2桁増
- ✓半導体・液晶市場、表面処理装置市場への設備投資がけん引し、アジア市場は前期比で2桁増

2

営業利益は前期比マイナス

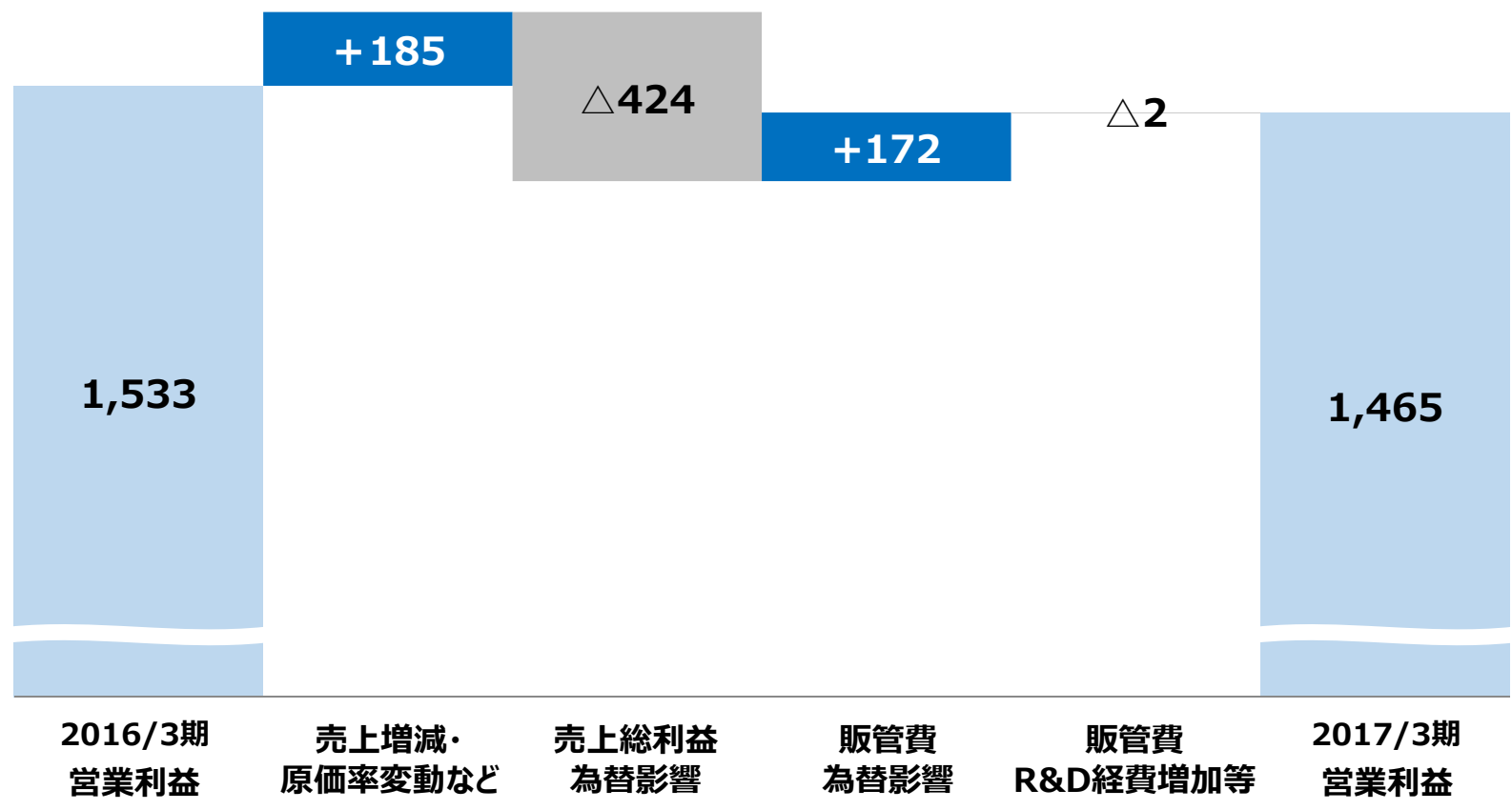
- ✓売上製品ミックスの悪化
- ✓売上地域（4Qの海外売上増）ミックスの悪化
- ✓半導体・液晶市場向け新製品の販売増による製品保証費の増加

3

経常利益は関係会社の好調から増益

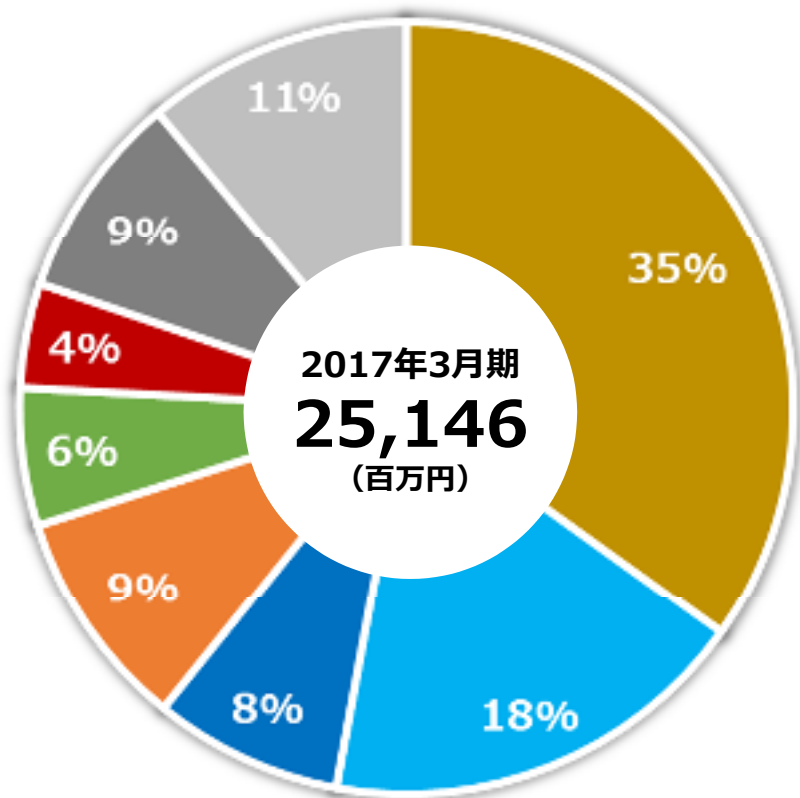
- ・東アジア地域における半導体・液晶市場、表面処理装置市場の活況が寄与

(百万円)



マグネットポンプが好調、空気駆動ポンプは2桁増

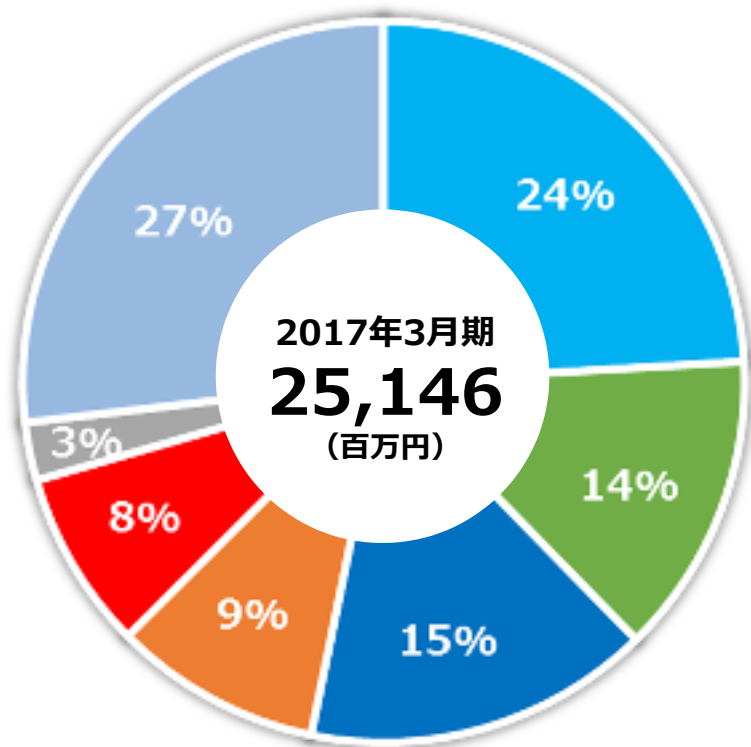
連結売上高



	金額 (百万円)	変化率 (前期比)
■ マグネットポンプ	8,769	+3.6%
■ 定量ポンプ	4,537	△0.4%
■ 空気駆動ポンプ	1,984	+12.2%
■ 回転容積ポンプ	2,342	△6.5%
■ エアーポンプ	1,436	△2.1%
■ システム製品	1,092	△7.8%
■ 仕入商品	2,192	△0.8%
■ その他	2,791	+4.2%

半導体・液晶、医療機器向けが好調、新エネルギーは大幅減

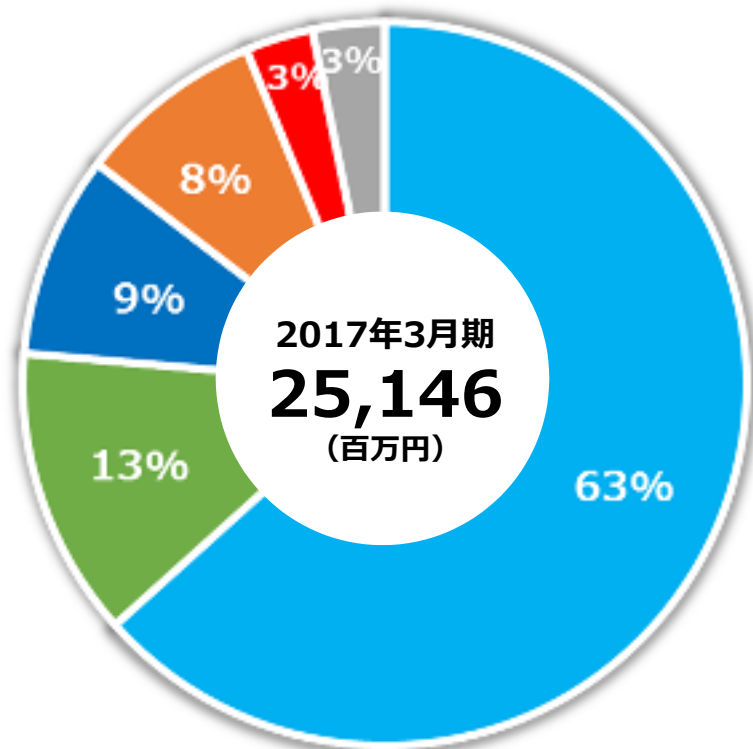
連結売上高



	金額 (百万円)	変化率 (前期比)
■ 水処理	6,053	+0.3%
■ 半導体・液晶	3,423	+4.6%
■ 医療機器	3,908	+11.5%
■ 化学	2,341	△9.2%
■ 表面処理装置	2,020	+0.4%
■ 新エネルギー	650	△32.6%
■ その他	6,748	+4.4%

海外はアジアが好調もそれ以外は伸び悩み

連結売上高



海外売上高比率 **36.6%**

	金額 (百万円)	変化率 (前期比)
■ 日本	15,935	+1.7%
海外計	9,210	+0.6%
■ アメリカ	3,273	△2.2%
■ ヨーロッパ	2,271	△4.5%
■ アジア	2,095	+17.2%
■ 中国	764	△1.7%
■ その他	806	△7.5%

(百万円)

	2016年3月期末		2017年3月期末		前期比 増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	19,688	77.4%	19,832	75.5%	+0.7
現金・預金	5,727	22.5%	6,191	23.6%	+8.1
受取手形・売掛金	8,411	33.1%	8,423	32.1%	+0.1
その他	5,550	21.8%	5,217	19.9%	△6.0
固定資産	5,749	22.6%	6,421	24.5%	+11.7
有形固定資産	2,957	11.6%	3,724	14.2%	+25.9
無形固定資産	233	0.9%	223	0.9%	△4.2
投資その他の資産	2,558	10.1%	2,473	9.4%	△3.3
資産合計	25,438	100.0%	26,253	100.0%	+3.2
流動負債	7,119	28.0%	7,031	26.8%	△1.2
支払手形・買掛金	3,886	15.3%	4,345	16.6%	+11.8
短期有利子負債	919	3.6%	651	2.5%	△29.1
その他	2,314	9.1%	2,034	7.7%	△12.1
固定負債	2,242	8.8%	2,315	8.8%	+3.2
長期有利子負債	436	1.7%	406	1.5%	△6.8
その他	1,806	7.1%	1,909	7.3%	+5.7
負債合計	9,362	36.8%	9,347	35.6%	△0.2
純資産合計	16,075	63.2%	16,906	64.4%	+5.2
負債純資産合計	25,438	100.0%	26,253	100.0%	+3.2

・有価証券、投資有価証券の償還

・有価証券の償還

・(新)技術センター建設にかかる建設仮勘定の増加

・投資有価証券の償還

・仕入額の増加

・外貨借入金の減額

(百万円)

	2016年3月期 金額	2017年3月期		主な要因
		金額	増減額	
営業活動によるCF	1,413	2,001	+587	・仕入債務の増加
投資活動によるCF	997	△150	△1,147	・有形固定資産の取得により支出
財務活動によるCF	△935	△1,151	△215	・短期借入金の返済、配当金の支払
現金・現金同等物の増減額	1,393	685	△708	
現金・現金同等物の期首残高	4,032	5,426	+1,393	
現金・現金同等物の期末残高	5,426	6,111	+685	

設備投資額	384	369	△15	
研究開発費	513	532	+19	
減価償却費	472	498	+26	



今後の戦略



1

10年ビジョンの概要

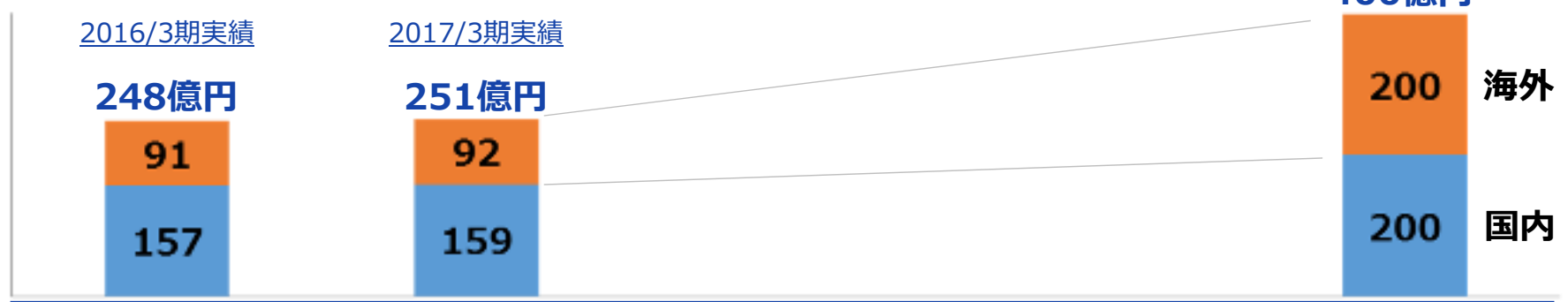


～2016/3期

2017/3期～2019/3期
第一期中期経営計画期間

2025/3期

連結売上高



6.1% ——— 5.8% — 売上高営業利益率 —————> 10.0%

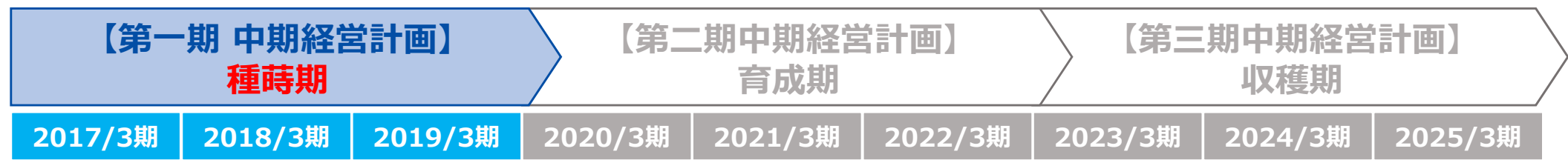
定量目標

定性目標

オールイワキで世界No.1を提供する

～ グループ一丸となり、世界No.1の製品、品質、価値、サービスを提供する ～

● 10年ビジョン達成に向けたステップ

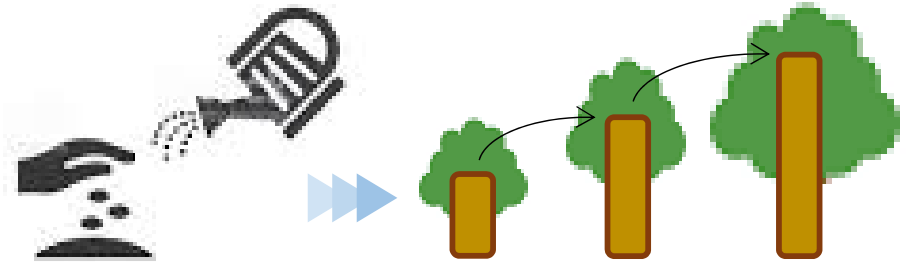


<収益基盤の再構築>

- ①強化市場(医療機器市場、新エネルギー市場、水処理市場)
への経営資源の優先的投入 ⇒ 製品開発の効率化を図る
- ②顧客対応力を強化し、ソリューションビジネスを展開
- ③新規事業のビジネスモデル構築
- ④海外戦略地域の市場動向に合わせた販売戦略の策定・実行、
および価格競争力と顧客対応力の向上実現

国内営業

- 競合リプレイス需要の獲得
- ソリューションビジネスの定着化と深耕
- 市場要求(製品、部品、納期等)対応



海外各市場における強化市場（並びに新規事業）

- 米国…水処理、医療機器、(アクアティック事業)
- 欧州…水処理、医療機器、化学・化工機、冷却、(アクアティック事業)
- アセアン…水処理、表面処理装置、化学、医療機器、(アクアティック事業)
- 中国…医療機器、新エネルギー、水処理

投資について

- 欧州子会社生産設備の強化、中国生産委託会社の拡大、物流関連強化
- 事業の拡大に向けた業務提携、M&Aの検討

2016年12月子会社化 … 残留塩素計を軸とした成長戦略を展開

グローバル展開

- アジア地域の上水道インフラ整備 ▶▶ 残留塩素計の需要拡大
- イワキの海外ネットワーク（販売・サポート体制）の活用

新たな市場への参入および開拓（シナジー効果）

- 小型残留塩素計
 - ▶▶ 福祉市場への参入（介護風呂）
 - ▶▶ 医療機器市場の開拓（医療機器組込型）
- イワキのポンプ品質、販売網と残留塩素計の特殊技術の組合せ



既存市場の拡大

- オリンピックに向けホテル建設ラッシュ等 ▶▶ 温浴施設での残留塩素計の需要拡大
- イワキの国内ネットワーク（販売・サポート体制）を利用した販売戦略

部材調達

- 新規協力工場を開拓し、中国国内での部材調達を推進中
- 製造原価ダウンと日本同等品質の維持



生産委託会社

- 生産委託会社を決定し、さらに順次拡大（'17年秋ごろに稼働予定）
- 地産地消の推進



流通経路の簡略化による納期短縮

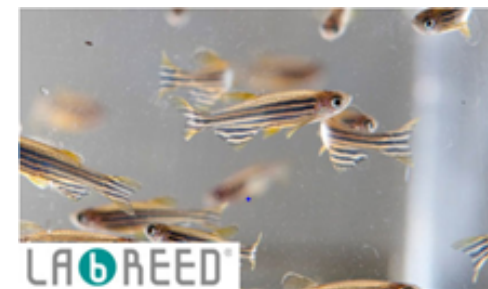
グローバル展開

- アクアティック事業プロジェクトの発足
 - ➡ 日本とアメリカにメンバーを配置
- グローバル市場を見据えたマーケティングを実施



分業と協業化

- 設計、生産、営業、サービスの各国での対応
- 使用可能部材の共有化



日本市場の拡大

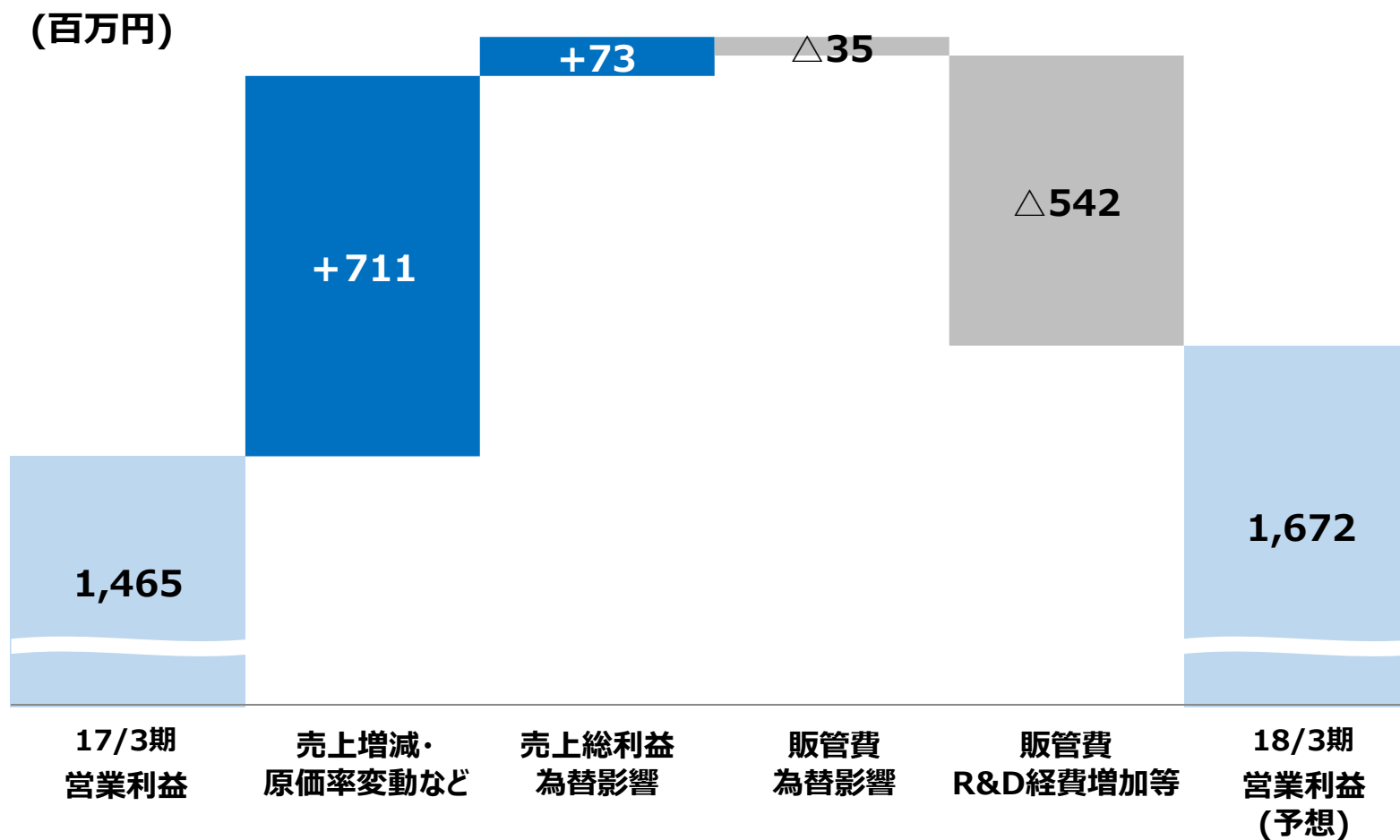
- 医療・医薬分野での応用
- 米国技術のフィードバック ➡➡ 国内外の競合他社製品との差別化



2018年3月期 業績見通し

(百万円)

	2017/3期	2018/3期 (予想)		中期経営計画 当初計画値
			前期比	
売上高	25,146	26,517	+5.5%	26,724
営業利益	1,465	1,672	+14.1	2,113
(営業利益率)	(5.8%)	(6.3%)	(+0.5pt)	(7.9%)
経常利益	2,136	1,969	△7.8%	2,552
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,690	1,450	△14.2%	1,779
1株当たり 当期純利益 (円)	225.93	193.82	△14.2%	237.83
為替レート (期中平均)	ドル 108.81	113.00 <想定レート>		98.00
	ユーロ 120.30	120.00 <想定レート>		108.00

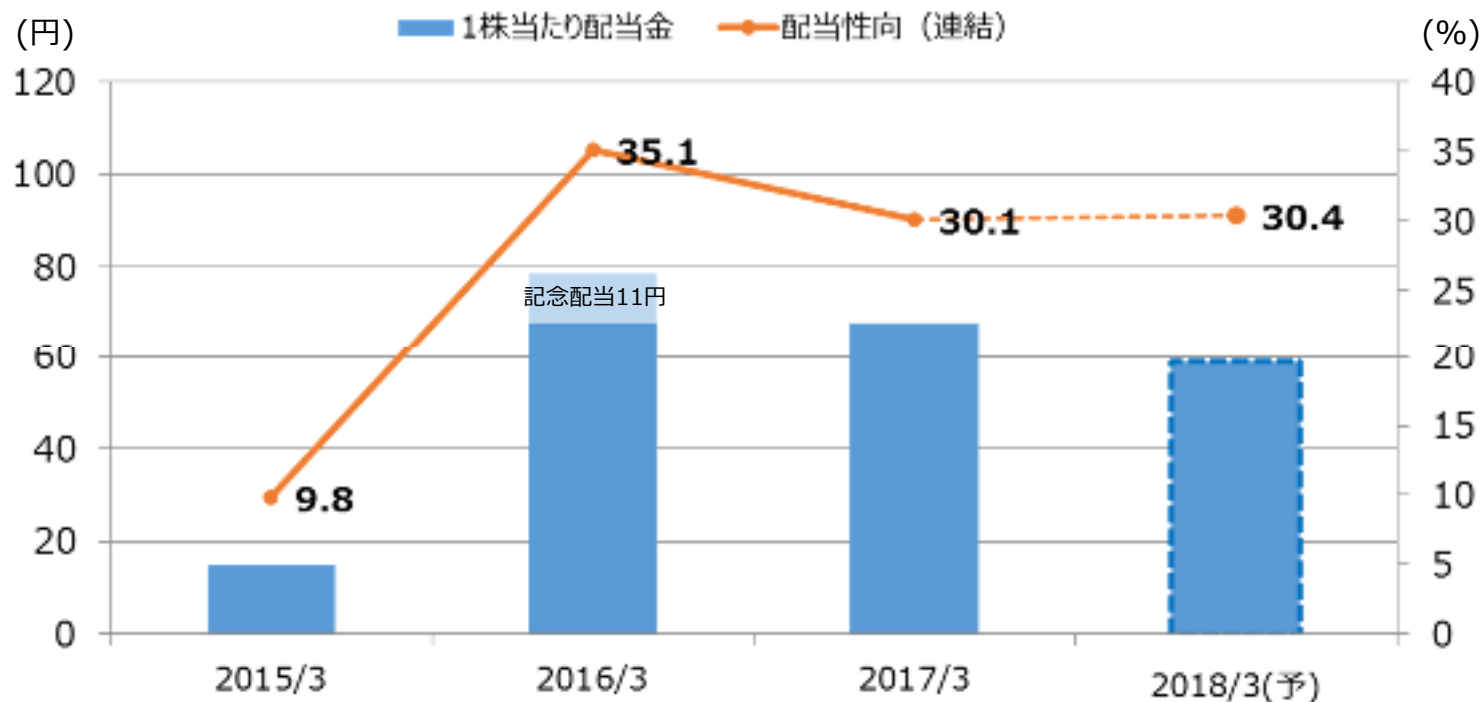


【市場環境の想定】

	国内	海外
水処理市場	<ul style="list-style-type: none"> 機能水、上下水、バラスト、滅菌、薬液供給が堅調 温浴施設等の需要 	<ul style="list-style-type: none"> 滅菌、薬液供給が堅調 環境問題でアジア中心に排水処理設備の投資拡大
半導体・液晶市場	<ul style="list-style-type: none"> 製造装置メーカー向け堅調 	<ul style="list-style-type: none"> アジアへの投資が当面は堅調、後半は不透明
医療機器市場	<ul style="list-style-type: none"> 人工透析装置、臨床検査装置向け堅調 	<ul style="list-style-type: none"> 中国向け生化学・免疫分析装置が堅調
新エネルギー市場	<ul style="list-style-type: none"> 家庭用燃料電池が引続き低調 	<ul style="list-style-type: none"> 太陽電池、二次電池の生産拠点の海外シフト、風力発電の欧州需要拡大
化学市場	<ul style="list-style-type: none"> 高付加価値製品の開発、製薬会社の投資需要 	<ul style="list-style-type: none"> シールガスを原料とする化学品生産投資、自動車産業向け化学製品等は堅調
表面処理装置市場	<ul style="list-style-type: none"> 電子基板の需要は海外シフト 高付加価値電子部品の需要 	<ul style="list-style-type: none"> ハイブリッドやEV自動車生産増により堅調

〈基本方針〉

利益剰余金の配当につきましては、将来の事業展開に備え、財務体質を強化するために必要な内部留保を確保しながら、継続的、安定的な配当を実施することを基本方針としております。



* 2016年1月に普通株式1株につき10株の割合で株式分割を実施しており、2015/3期の配当については遡及修正して表示



参考情報



1

当社経営理念について



【当社の経営理念】

常に最前線で産業を支え、社会の発展と人々の幸福に寄与する。

【当社のCI】



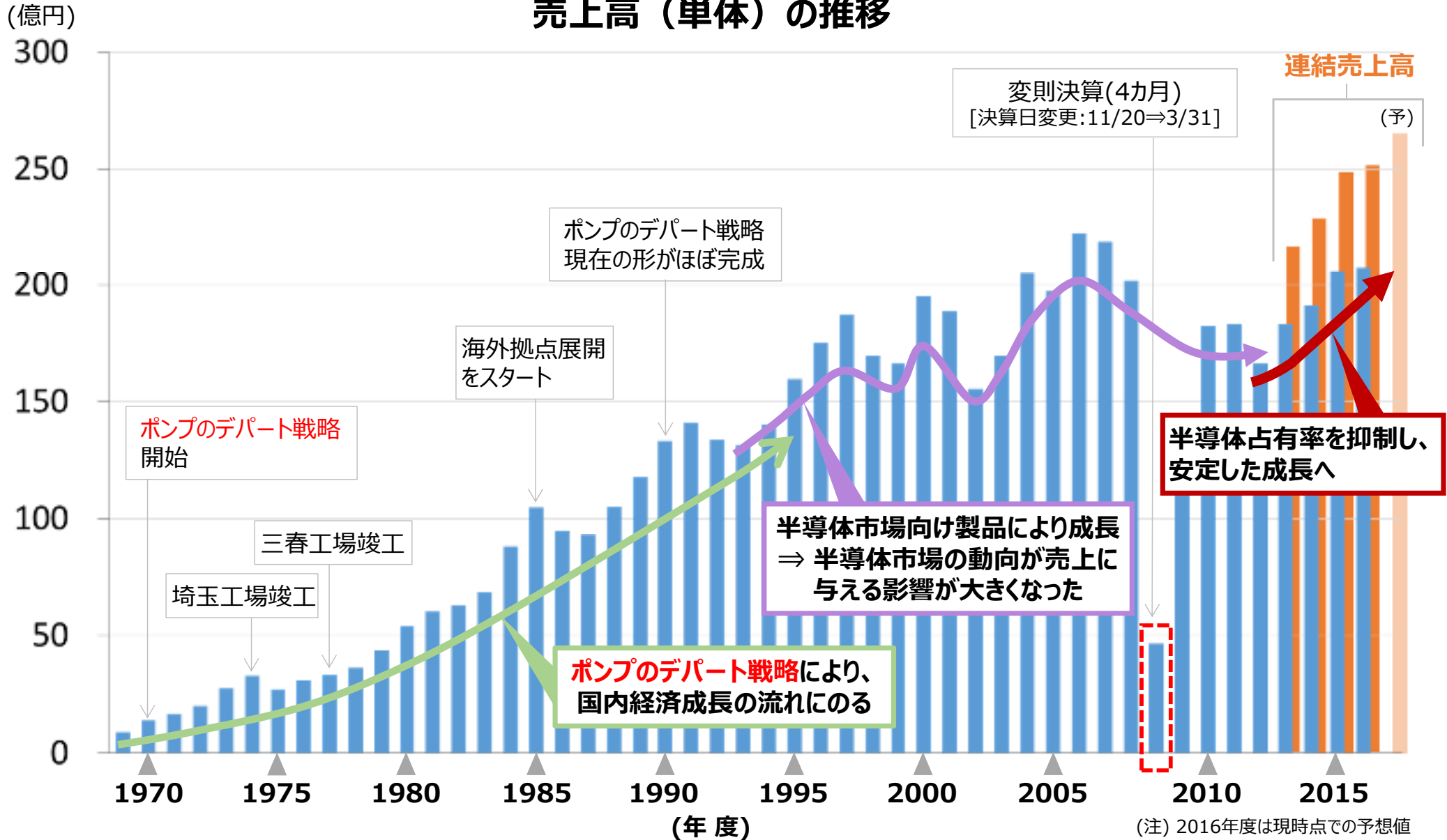
The Heart of Industry

IWAKI

Heart

- ・ケミカルポンプ… 産業界の「**心臓**」
- ・産業界に貢献するという当社の「**心意気**」

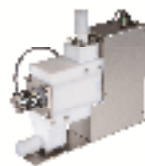
売上高（単体）の推移



- 1 お客様の要望にお応えできる
豊富な製品ラインナップ
- 2 顧客への強力なサポートが可能な
世界規模の生産・販売・サポート体制
- 3 製品であるポンプを中心に
「流体を制御する」機能でソリューションも提供
- 4 川上～川下まで、研究開発、製造、販売、
メンテナンスまで全工程をイワキグループでカバー

ポンプのサイズ
材質

各種ポンプにおいて60シリーズ以上、数万点にのぼる型式を展開



ポンプの種類

マグネット
ポンプ

定量
ポンプ

空気駆動
ポンプ

回転容積
ポンプ

エア
ポンプ

豊富な製品ラインナップの強みを発揮

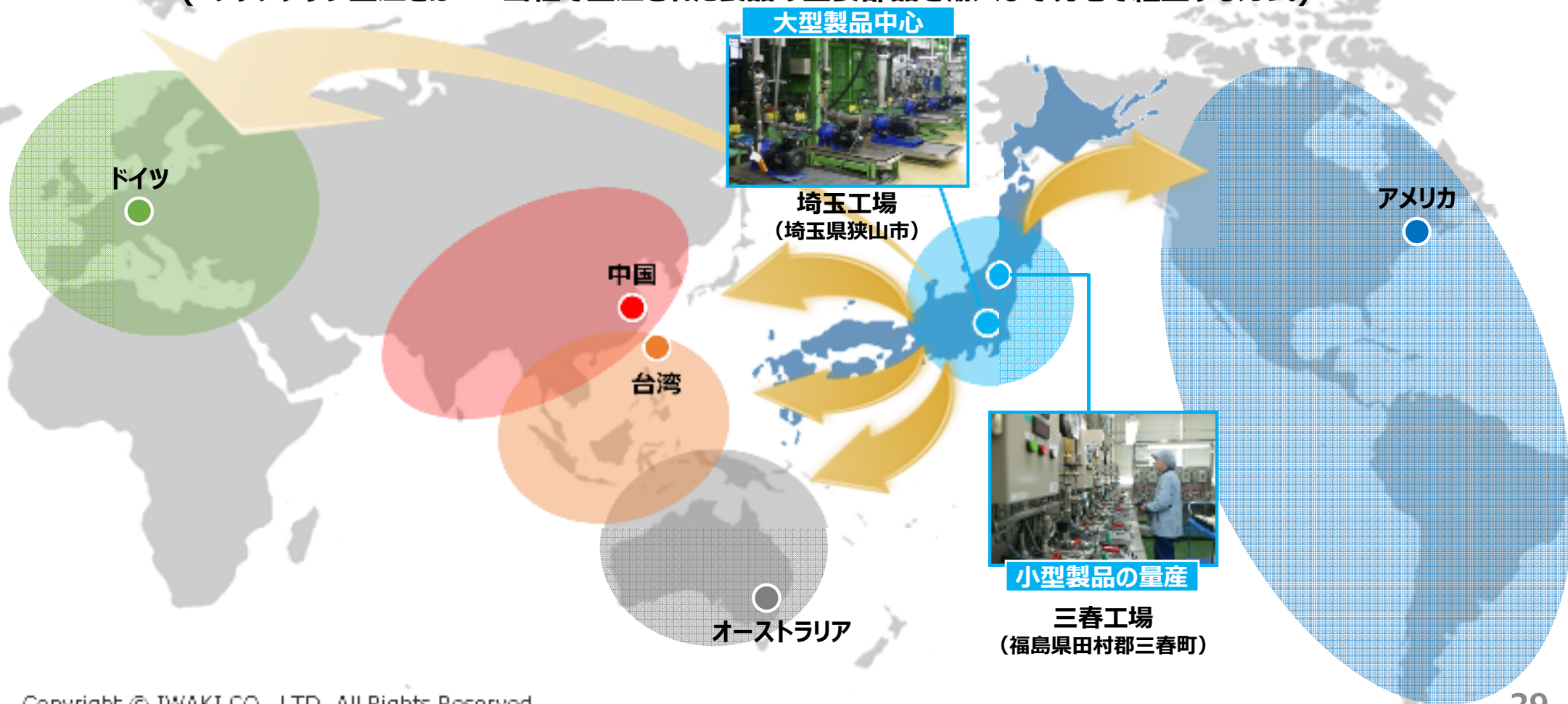
ワンストップでのソリューション提供

多品種少量生産を強みとしながら、年間約80万台の生産能力を有する

国内 … 2工場で役割を分担し、多品種少量生産を効率的に実現。強固な品質保証体制も構築

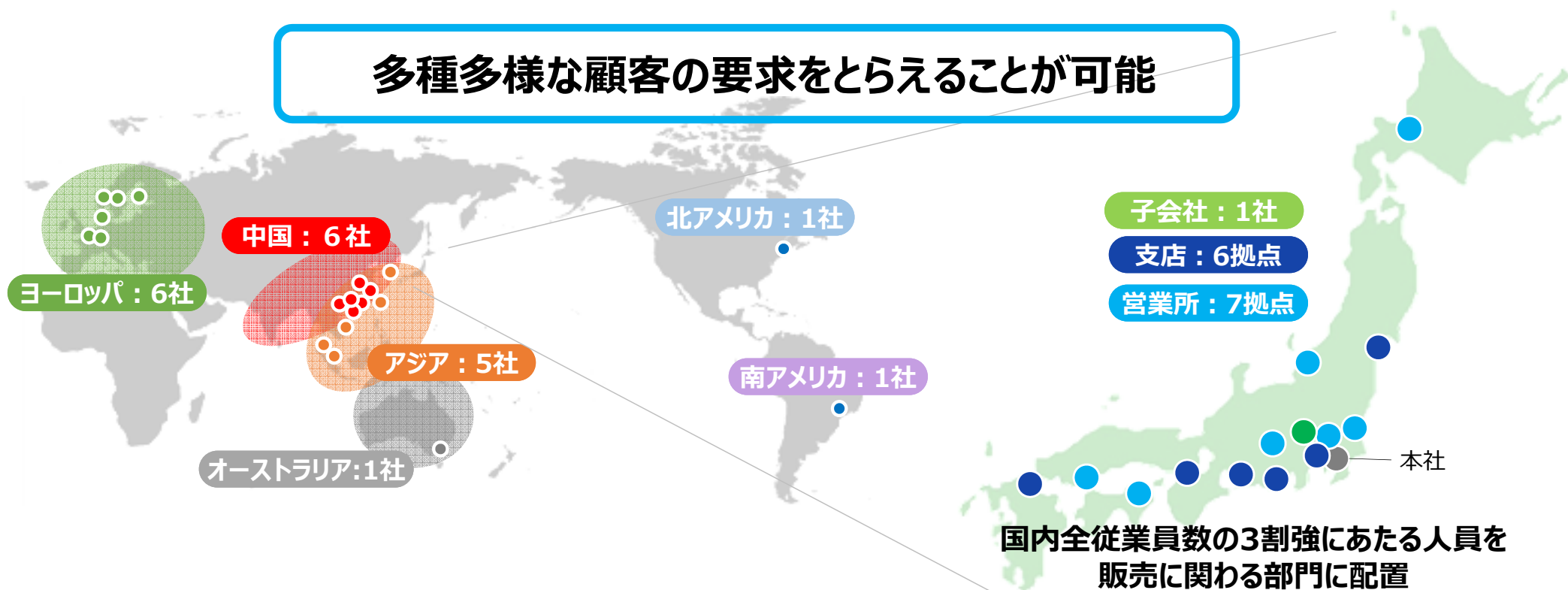
海外 … 国内工場より部品を輸出し、5拠点でノックダウン*生産により短納期・在庫効率化

(*ノックダウン生産とは … 当社で生産された製品の主要部品を輸入して現地で組立する方式)



- 国内は、本社のほか主要13都市に支店・営業所を展開し全国を網羅
また、全国各地の代理店と連携を取りながら、迅速なサービスを提供
- 海外は、15カ国20社のグループ会社が、ワールドワイドな販売・サービス網を構築
各市場の専門的知識を有する海外各重点地域マーケティングマネージャーを配置
(欧州地域で当該専任マネージャーを配置、他地域も順次専任者を配置予定)

多種多様な顧客の要求をとらえることが可能

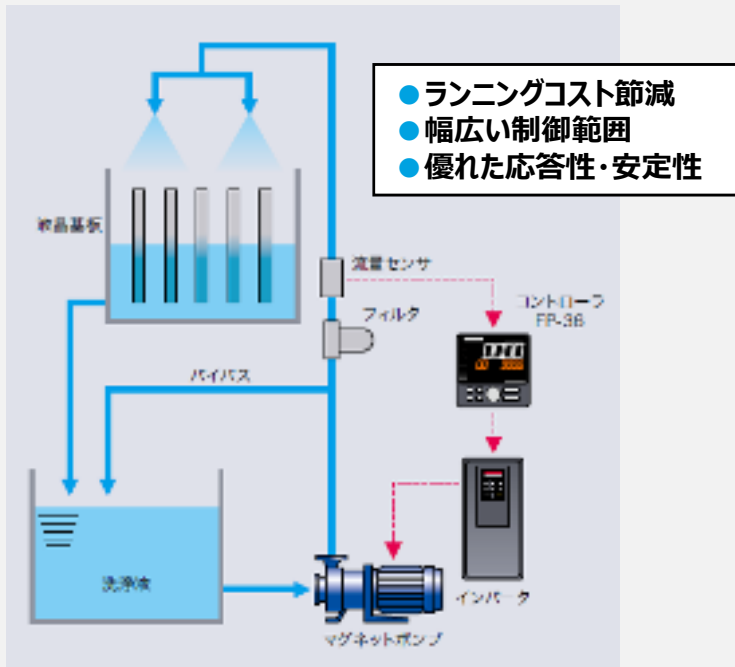


ケミカルポンプを中心とした関連製品を組み合わせ「流体を制御する」という機能を提供

ケミカルポンプメーカーとして、ポンプ専用コントローラを開発

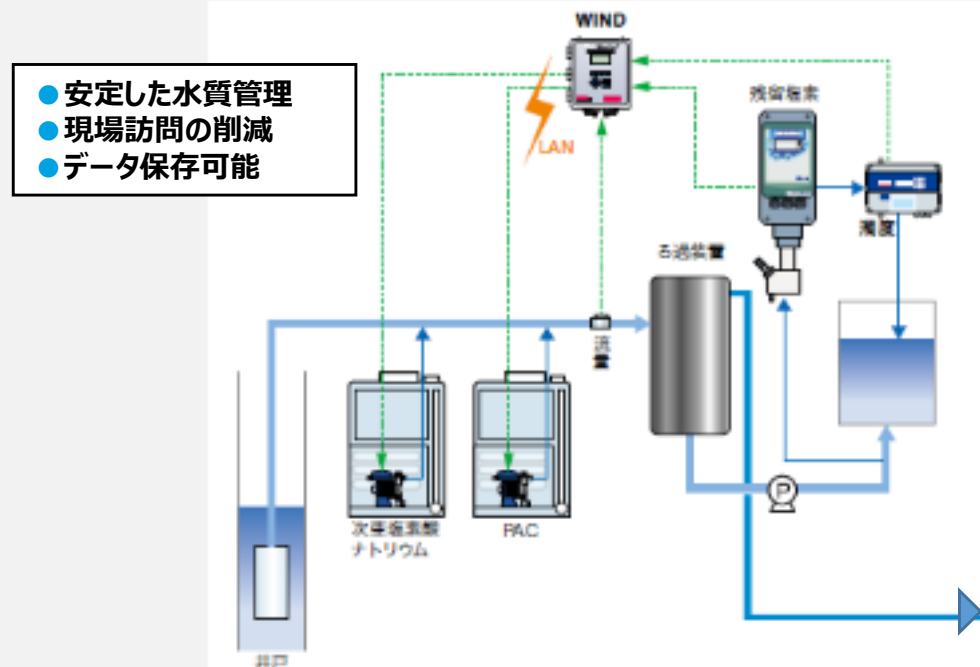
回転式ポンプの流量・圧力を、専用コントローラによる回転数フィードバックにより、一定に制御するシステム

センサからの信号でポンプを制御し、水質管理するシステム。インターネット接続により遠隔監視も可能



- ランニングコスト節減
- 幅広い制御範囲
- 優れた応答性・安定性

【液晶製造プロセスでの使用例】



- 安定した水質管理
- 現場訪問の削減
- データ保存可能

【井戸水の殺菌処理での使用例】

【流体制御装置の紹介-1】

ブレンディングシステム

【用途】 食品・製紙・化学プロセスにおける
各種液体の混合



複数の液体を配管内で連続混合するシステム

- 混合比率の変更が容易
- 混合タンク削減による省スペース化
- オンデマンド生産

【流体制御装置の紹介-2】

次亜無脈動注入装置

【用途】 浄水場の滅菌プロセスで使用される
次亜塩素酸ソーダの安定注入



移送困難な次亜塩素酸ソーダーを安定注入するシステム

- 回転容積式構造によるムラの無い安定注入
- 耐摩耗性素材採用により部品が長寿命
- シンプルな構造でメンテナンスが容易

【医療機器試験装置の紹介】

補助人工心臓用耐久試験装置 ラボハート NCVC

【用途】 補助人工心臓ポンプ・人工弁などの性能評価、耐久性確認試験



心臓の拍動波形を再現し、補助人工心臓等の性能評価や耐久試験を行う装置

- 大動脈圧力波形を任意に設定可
- メンテナンス性を考慮した設計
- 実条件に近い試験プログラムの設定が可能

【バイオ試験装置の紹介】

小型魚類飼育水槽システム ラブリード

【用途】 小型魚類を使用した遺伝子研究や毒性評価試験



小型魚類飼育の最適な環境を保ち、安定した飼育管理を行う事が出来る装置

- 耐久性・メンテナンス性を考慮した設計
- 研究機関・大学での運用実績
- 環境ホルモン溶出リスクの少ない材料を採用



マグネットポンプ

液漏れのない完全無漏洩構造のポンプ



定量ポンプ

各種の薬液を高精度で一定量注入できるポンプ



空気駆動ポンプ

半導体製造プロセス等の各薬液処理用途に使用されるポンプ



回転容積ポンプ

主に粘性液やスラリー（固形分）混入液移送用のポンプ



エアポンプ

空気や各種ガス等を吸引・移送するポンプ



システム製品

長年に亘る多様な流体制御のノウハウを蓄積した製品

半導体・液晶市場

医療機器市場

表面処理装置市場

化学市場

水処理市場

新エネルギー市場

その他(食品・製紙等)



免責事項及び将来見通しに関する注意事項

- この資料は投資家の参考に資するため、株式会社イワキ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、2017年5月26日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

【お問合せ先】

E-mail : ir@iwakipumps.jp
TEL : 03-3254-2931